

## 事業所向け 自己評価表 集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別療育は1時間に2家族で対応し、それぞれ1部屋ずつ確保しています。</li> <li>お子様によって、集中しやすいように部屋の配置や場所を選別しています。</li> <li>集団療育は、活動に応じて本館を利用して、広い空間で対応できるようにしています。</li> <li>活動の内容によるが、人数や部屋の使い分けが必要で、工夫をしています。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援は、基本人員に加えて加配(基本人員以上の配置)を行っています。</li> <li>児童発達支援では、個別療育を主に行っておりませんが、スタッフ2名体制で専門性を高めていけるように取り組んでいます。</li> <li>適切であると思う</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から、通路が通りやすいようにスタッフにより、モルタルで平らにし、広めの階段を設置しました。</li> <li>しかし、玄関部分はお子様にとっては段差が高く、不便を感じていらっしゃる場面は見受けられております。</li> <li>2024年度中に玄関部分の改良を行いたいと考えております。</li> <li>2024年度から、大刀洗町本郷にて重症心身障がい児・者対応の事業所を開設いたします。</li> <li>現状の事業所の環境では対応できない場合、新規事業所にて療育が行えるように整備したいと考えております。</li> <li>室内に関しては、玄関部分や引き戸部分の多少の段差があるように感じる為、つまづきがないように配慮します。</li> <li>物品関係をもう少し整理整頓して利用しやすい環境整備をしたい。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育前後に担当スタッフでの打ち合わせと振り返りを行いながら、お子様の成長につながるよう努めております。</li> <li>情報交換が適宜行われており、振り返りが行えている。</li> </ul>
	⑤	保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年1回アンケートの実施と事業所内での協議を行っております。保護者様からのご意見に対して、事業所でどのような対応が可能か、全スタッフでの検討を行っております。</li> <li>保護者様の思い等の情報を共有し、意向に添う関わりをしていきたい。</li> </ul>
	⑥	この評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表(ホームページ)を行っております。公表するだけでなく、保護者様に向けた説明会と不参加のご家庭に対しても資料の配布を行っています。</li> </ul>
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、第三者の外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて外部評価を活用していきたいと考えます。</li> </ul>
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の反省から今年度は研修を計画しておりましたが、十分な回数と内容を提供できなかった反省があります。</li> <li>2024年度は、2事業所となりますので、各事業所の特性を活かしながら、合同での研修の機会も作っていきたくと考えております。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達チェックシート(事業所独自の書式)や日々の療育内での評価を基に個別支援計画書を作成しております。</li> </ul>
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化されたツールの使用はしていませんが、事業所独自の発達チェックシートを用いての評価を行っています。</li> <li>チェックシートの更新が定期的に行えるように仕組みを整えていきます。</li> <li>スケジュール管理などもしっかりと実施できているように思える。</li> </ul>
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画は、お子様に対しての目標である「発達支援」、ご家族に対しての目標や支援である「家族支援」、地域や関係機関との連携に対しての目標や支援である「地域支援」の3項目で構成しております。</li> <li>来年度から、法改定によって、個別支援計画書の書式(アセスメントおよびプログラム立案まで)の流れが変更になります。</li> <li>1年間かけて体制と書式を整えていく必要がありますので、随時ご説明していきながら、ご家族の同意を得ていきたいと考えております。</li> </ul>
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画にのっとり、療育を実施しています。</li> </ul>
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当スタッフによって、振り返りと計画を立てて、毎回の療育のプログラムを立案しています。</li> <li>ミーティング等で行っているように思える。</li> </ul>
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様の発達に合わせて固定化しないよう取り組んでいます。</li> <li>変化が苦手なお子様に対しては、ルーティンとなる活動・課題内容を入れていながら、少しずつ変化に対応していけるように計画的に進めております。</li> <li>活動内容などが複数選択できる状況にあると思える。</li> </ul>
⑮	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には個別療育を実施しておりますが、お子様の特性や成長段階に合わせて、小集団でのグループ療育も実施しています。</li> <li>スタッフが関わり、計画の作成が行えている。</li> </ul>	

保護者への説明責任等	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割について確認しているか	9	1	0	・限られた時間の中で、療育の準備や片付けの時間を活用しながら、支援の打ち合わせを行っています。しかし、余裕をもって準備できる時とできない時がある為、計画的に行えるように努めています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	8	1	1	・療育終了後の片付けの時間を活用しながら振り返りを行っています。また、それぞれ記録をしていくことで互いに気づいた部分を共有しています。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	6	3	1	・療育実施後に記録を行っています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	・6か月に1回の頻度で、振り返りを行っており、目標に対しての達成度合いと次なる課題を明確にしております。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	3	0	・担当者会議は児童発達管理責任者および担当者が出席するようにしています。
	21	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	3	0	・市町村や園の先生など子育てに関わっている関係機関との連携を常に図っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもなどの在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携した支援を行っているか	2	8	0	・現状の事業所では、対応できておりませんが、2024年度から重症心身障がいを持ったお子様から大人までを対応する事業所を開設予定です。地域の関係機関との連携の強化を図りながら、関わりたいと考えております。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	1	9	0	・現状の事業所では、対象児がおりませんが、新規事業所では主治医の先生や関係機関との連携を図ってサポートしていきたいと考えております。
	24	保育園や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	0	・個別療育に加えて、保育所等訪問支援も実施しております。小まめに園や学校との連絡調整を行いながら、情報共有と支援の方向性を確認しています。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	7	3	0	・学校入学に向けては、学校見学や学校選択についてのご相談をお受けしています。必要に応じて学校や教育委員会と連携を図りながらサポートしております。
	保護者への説明責任等	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	9	0
27		保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	6	・現在は地域の方々と交流する機会は設けておりません。外出活動などで、公園で一緒になることはあります。今後、企画として取り組んでいくかどうかは協議していきたいと思っております。
28		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	2	1	・自立支援協議会への参加を行っています。現在は代表が主に参加しておりますが、地域連携を現場レベルで行っていただけるように他スタッフの参画も検討していきたいと思っております。
29		日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	0	・個別療育の中で、お子様の状況を常に確認していております。また、事業所公式LINEアカウントを活用していただき、日々の悩みや相談事項をタイムリーに発信していただけるようにしています。直接的な関わりと、電話やLINEでの関わりを交えながらタイムリーに伝え合えるようにしております。
30		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1	2	・ペアレント・トレーニングという形式では実施できていませんが、日々の療育の中でのご相談対応や関わりのポイントなどをお伝えしております。
31		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2	0	・契約時に丁寧に説明するように心がけております。児童発達支援のご家庭は4歳～6歳までが無償化対象期間となりますので、利用者負担の部分は意識が薄れがちになりますので、放課後デイサービスを見越して、負担額の仕組みをご説明するように徹底しております。 ・利用者の負担などについての理解を深めていきたい。
32		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらいおよび支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	1	0	・個別支援計画書の作成とご説明を行い、サインをいただいております。 ・他のスタッフの姿を見ながら、どのように相手に伝えているのかなどの理解を深めていきたい。
33		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	2	0	・療育の際やお電話、事業所公式LINEを活用いただきながら、ご相談に対応しております。 ・悩む点などは、スタッフ間で話し合い、温かい支援をしていきたい。
34		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	1	0	・年2回(茶話会と説明会)を実施して、保護者様同士の交流の機会となるように努めております。できるだけ多くの保護者様が参加できるように日時を検討していきたいと思っております。
35		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0	・苦情対応についての対応マニュアルを作成しております。また、事業所内への掲示も行っております。
36		定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	8	1	1	・定期的な会報の作成は行っていません。ホームページやInstagramでの発信をしております。事業所公式LINEを活用して、事業所からの行事予定やお知らせを配信しております。保護者様への配信と外部への配信は目的と個人情報などに留意して取り組んでおります。

守	⑳ 個人情報に十分注意しているか	10	0	0	・個人情報を守ることの徹底をしております。
	㉑ 障害のある子や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0	・必要に応じてイラストや文字を使って、お子様が理解しやすいように工夫をしています。 ・スケジュールの掲示や写真カードなども活用して、お子様からの表出もしやすいように工夫しています。
	㉒ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	3	・地域の方を招待するというのを大々的には行っていません。保育所等訪問支援を行い、地域の園で安心して過ごせるようにサポートを行っております。
非常時等の対応	㉓ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	1	・各種マニュアルの整備とスタッフ周知を行っております。 ・随時、マニュアルの更新や追加作業を行っていきながら、周知・徹底を図っていきます。
	㉔ 非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	2	0	・年2回の消防訓練を行っています。 ・来年度からは重症心身障がい児・者を対応していく為、救急救命研修も行っていく予定です。
	㉕ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	4	1	・虐待防止研修を年1回開催しております。日々の気づきなどを伝え合う部分を高めていきながら、虐待の芽となりうるかもしれないところに気づけるようにしていきます。
	㉖ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	5	2	・児童発達支援では、食事提供を行っておりませんので、医師の指示書などとしておりません。
	㉗ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	0	・ヒヤリハット記入用紙を整えて、日々の終礼での確認とミーティングでの振り返りを行っています。 ・事例などにも目を通し、活用や意識して関わりたい。
	㉘ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	・パンフレット掲示や社内研修を行っています。
㉙ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	4	6	0	・現在の事業所で身体拘束にあたる行為がない状況ではあるが、身体拘束というものは何かということは知っておく必要があります。引き続き、社内研修を行っていきます。	